

■策定経過

	開催日時	検討内容
第1回協議会	令和4年3月25日	・計画策定の主旨 ・調査の内容等を協議
第2回協議会	令和4年11月7日	・計画の位置付け ・現状分析、市民意識アンケート調査結果を踏まえ協議
第3回協議会	令和5年12月21日	・課題整理、基本方針、評価指標、施策 ・総合交通計画素案に係る協議
パブリックコメント	令和6年1月22日～2月5日	—
第4回協議会	令和6年2月16日	・パブリックコメントの結果 ・総合交通計画(案)に係る協議

■富山市都市交通協議会 委員名簿

(敬称略)

役職	氏名	所属	役職等
会長	三浦 良平(前任)	富山市	副市長
	美濃部 雄人(後任)		
委員	川上 洋司(前任)	福井大学	名誉教授
	本田 豊(後任)	富山大学 都市デザイン学部	教授
〃	西岡 秀次(前任)	富山商工会議所	専務理事
	上田 祐正(後任)		
〃	楠田 悦子	モビリティジャーナリスト	—
〃	鹿野 剛史	西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室 企画課 交通企画室	室長
〃	辻川 徹(前任)	富山地方鉄道株式会社	代表取締役社長
	中田 邦彦(後任)		
〃	日吉 敏幸	あいの風とやま鉄道株式会社	代表取締役社長
〃	土田 英喜	富山県タクシー協会	会長
〃	伊藤 曜一(前任)	株式会社富山市民プラザ	常務取締役
	大場 一成(前任)		
	奥沢 靖(後任)		
〃	音瀬 肇(前任)	国土交通省 北陸地方整備局 都市・住宅整備課	課長
	吹抜 祥平(後任)		
〃	蝶名林 幸雄(前任)	国土交通省 北陸信越運輸局 富山運輸支局	支局長
	中村 幸春(後任)		
〃	田村 毅(前任)	国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所	所長
	佐藤 保之(後任)		
〃	牧野 裕亮	富山県 交通政策局	理事・次長
〃	市井 昌彦(前任)	富山県 土木部	次長
〃	金谷 英明(後任)		
〃	関口 健次(前任)	富山県警察本部 交通部 交通規制課	課長
	大島 和久(後任)		

■用語集

No.	用語	意味
1	AIオンデマンド交通	AI(人工知能)を活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適な配車を行うシステムのこと。
2	EV (Electric Vehicle)	電気自動車のこと。自宅や充電スタンドなどで車載バッテリーに充電を行い、モーターを動力として走行する。エンジンを使用しないため、走行中に二酸化炭素を排出せず、環境性能に優れている。
3	LRT (Light Rail Transit)	従来の路面電車の走行環境、車両等をグレードアップさせた、人や環境にやさしく経済性に優れた公共交通システムのこと。
4	MaaS (Mobility as a Service)	あらゆる公共交通機関やシェアサイクルといったサービスを、ICT(情報通信技術)を活用してシームレスに結びつけ、マイカー以外の交通手段による移動を1つのサービスとして捉える概念のこと。
5	PDCAサイクル	Plan(計画)、Do(実行)、Check(測定・評価)、Action(対策・改善)の仮説・検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高めようという概念のこと。
6	イグレス	アクセスの逆のこと。目的地に至るまでの交通をイグレス交通という。
7	ウォークابل	新たな時代のまちづくりの方向性におけるキーワードの一つ。「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、まちなかを車中心から人中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変していく考えのこと。
8	オープンループ	クレジットカードや、デビットカードを用いた交通サービスの乗車システムのこと。
9	カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること。
10	貨客混載輸送	旅客列車、バス、タクシーなどの空きスペースを利用して、貨物を輸送すること。
11	キャッシュレス(決済)	鉄道やバスなどの利用時に、現金で切符を購入せずに、ICカードやスマートフォンのアプリケーションなどで決済を行うこと。
12	グリーンスローモビリティ	時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称のこと。
13	公共交通が便利な地域	すべての鉄軌道と運行頻度が高いバス路線沿線の徒歩圏かつ用途地域を設定している地域のこと。
14	交通GX (グリーン・トランスフォーメーション)	温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーなどのクリーンエネルギーに転換することで、地球環境を変革させるという概念のこと。
15	交通DX (デジタル・トランスフォーメーション)	デジタル技術を駆使して交通・運輸を効率化する手法のこと。
16	サブスクリプション	一定期間利用できる権利に対して、料金を支払うビジネスモデルのこと。
17	シームレス	「継ぎ目のない」という意味。交通機関の乗継ぎ、駅内の歩行、車両の乗降といった移動に関するあらゆる「継ぎ目」をハード・ソフト両面にわたって解消し、円滑な移動が確保されていること。

■用語集

No.	用語	意味
18	自動運転	AI(人工知能)などのシステムが周囲の状況を適切に判断し、自律的かつ安全に自動車を運転すること。
19	シビルミニマム	市民レベルで維持すべき最小限度の生活水準を指し、自治体が住民のために保障しなければならないとされる最低限度の生活環境基準のこと。
20	人口集中地区	「原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接して」「それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域」に該当するエリアのこと。
21	ゾーン運賃	都市内をいくつかのゾーンに分類し、乗車してから下車するまでに通過するゾーンの数で運賃を決める方式のこと。
22	タクトダイヤ	複数の路線をパターンダイヤにして、それらが相互に接続する仕組みのこと。指揮者のタクトに合わせるように列車が一斉に集まり、発車していくイメージから、欧州でそう呼ばれている。
23	デジタルサイネージ	屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディア。公共交通においては、案内や時刻表などの情報を利用者に提示するために、乗継拠点に設置する電子掲示板のこと。
24	デマンド交通	バスや電車などのようにあらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を回るのではなく、予約を入れて指定された時間に指定された場所へ送迎する交通サービスのこと。
25	都市アセット	地域の資源として存在する官民の既存ストックのこと。
26	乗合タクシー	乗合バスのように乗合旅客を送迎するタクシーのこと。定時定期路線で運行する形態とそれ以外(予約制)の形態がある。
27	ノンステップバス	利用者の乗降をより容易にするため、地上から車両の床面までの地上高が65cm以下の車両であって、ステップ(階段)を解消したバス車両のこと。
28	パターンダイヤ	鉄道やバスが等間隔に発車するようなダイヤのこと。
29	フィーダーバス	駅から自宅までといった端末的な輸送をフィーダー輸送といい、それをバスで行っているもののこと。
30	福祉有償輸送	NPO法人や社会福祉法人などが、障害者や高齢者など一人で公共交通機関を利用することが困難な方を対象に行う、ドア・ツー・ドアの有償移送サービスのこと。
31	ボランティア輸送	地域のボランティアが、自家用車を使用し実施する、地域の輸送サービスのこと。
32	モビリティ・マネジメント (Mobility Management)	一人ひとりのモビリティが、社会にも個人にも望ましい方向に、自発的に変化することを期待する取組みのこと。情報提供などのコミュニケーションを中心とした手法を活用すること。
33	モビリティハブ	鉄道やバス等の基幹的な公共交通の乗降場周辺や移動が不便な地域において、移動サービスの利用拠点を集約した拠点のこと。
34	ライドシェア (Ridesharing)	移動時に他者と車を共有すること。アプリやWebサイトなどを介して個人所有の車で移動を補助してもらう。欧米では安価な交通手段として広く浸透している。